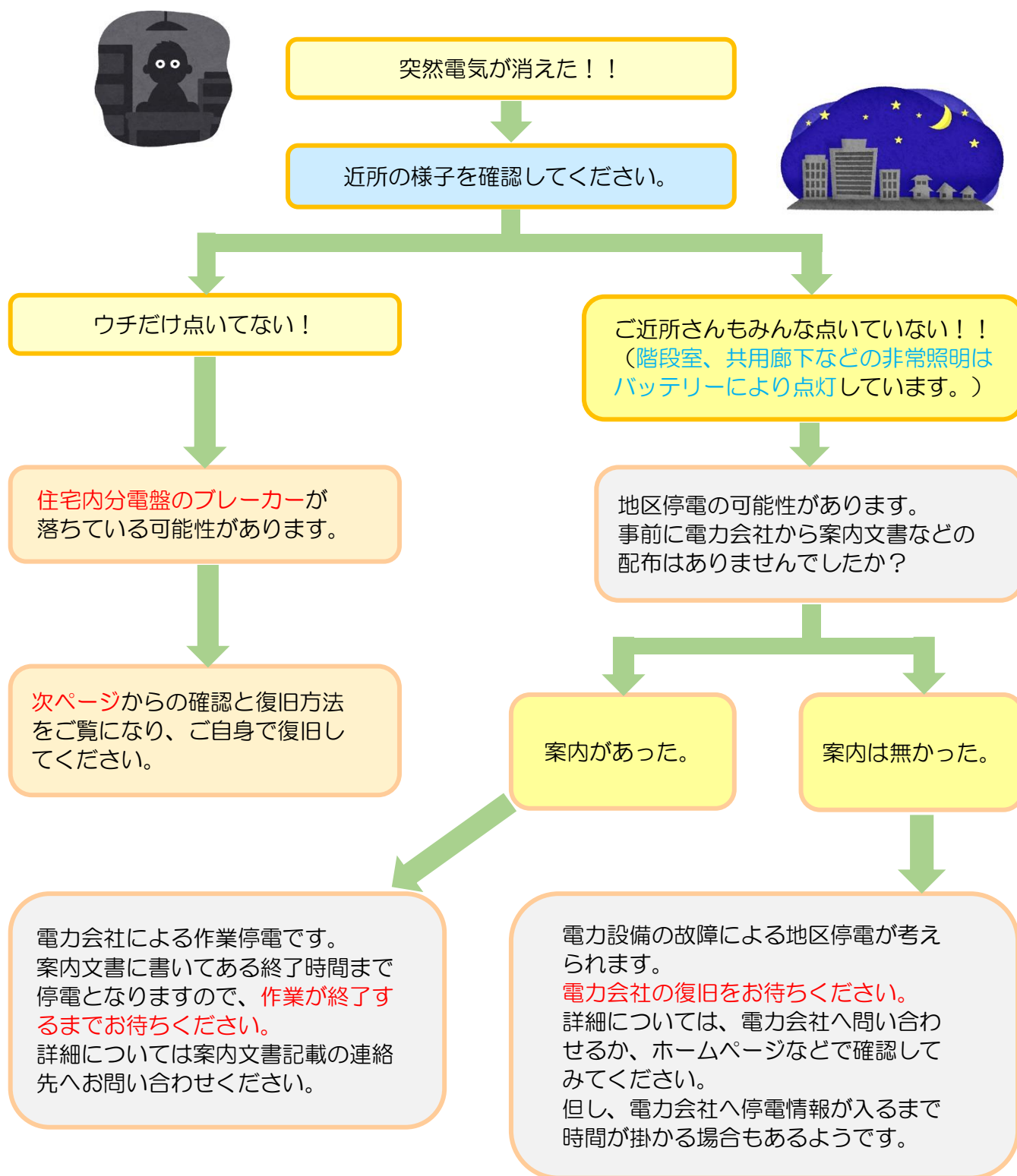


停電時の原因確認方法

- ◆ 停電には様々な原因が考えられます。
以下のフローで原因の特定が出来ますので、お試しください。



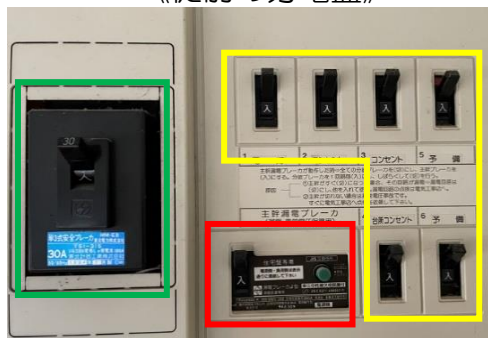
※お問い合わせをいただく中で、稀ではございますが『電気料金の未納』による送電停止や契約解除という事例もございました。
『電気料金お支払いのお願い』などの通知が届いていた場合は、ご契約の電力会社へお問い合わせください。

⚡ 室内のブレーカーが落ちた時は… ⚡⚡

- お部屋のブレーカーが落ちて電気が止まった時のために、各ブレーカーの役割と原因の確認、復旧方法をご紹介します。

分電盤のかたち

《従前の分電盤》



- ・ 上に押し上げるとON

《最近の分電盤（復興住宅など）》



- ・ 漏電ブレーカーは上に上げるとON
- ・ 安全ブレーカーは赤色が見えるとON
緑色が見えているとOFF

ブレーカーの種類と役割（上記写真内の枠色参照）

- アンペアブレーカー（契約ブレーカー）
 - ・ 電力会社との契約容量によるブレーカー。
 - ・ これが落ちたときは、電気の使い過ぎ（容量オーバー）です。
 - ・ スマートメーターの普及により、設置されない事もあります。
- 漏電ブレーカー
 - ・ 漏電を検知した場合、このブレーカーが落ちます。
- 安全ブレーカー
 - ・ 電灯やコンセントなど、回路ごとのブレーカー。
 - ・ アンペアブレーカーと同じく、電気の使い過ぎで落ちます。

落ちた時対処法

 のアンペアブレーカーと、 の安全ブレーカーが落ちる原因は、**電気の使い過ぎ**です。

直前に使っていた家電製品のスイッチを切り、ブレーカーを上げご使用ください。
（使用する製品の組み合わせにご注意ください。）

※電力メーターがスマートメーターに変わっている場合、使い過ぎではブレーカーは落ちません。スマートメーターにて遮断されます。

その場合約10秒後に自動復旧されますが、復旧時にも容量オーバーを検知すると再度遮断され、何度か繰り返した後に完全に遮断されますので、自動復旧前に家電製品のスイッチをお切りください。

完全に遮断された場合の復旧は、電力会社へ連絡してください。

 の**漏電ブレーカーが落ちた場合**は、お使いの家電製品や照明器具、または電気回路、配線などで**漏電している可能性**があります。

次ページの手順を行って漏電しているものを特定し、使用を止めてください。



まずは**復旧前の準備**作業！

- ① 全てのブレーカーを下げて（切）ください。
※ アンペアブレーカー、 安全ブレーカーの全部。
既に落ちている 漏電ブレーカーも、念のため手で押し下げてください。
- ② アンペアブレーカーを上げてください。

ここから**復旧作業**です。

- ③ 漏電ブレーカーを上げて（入）ください。
※上がらない場合は、漏電ブレーカー本体にあるボタンを押してから上げてください。
- ④ 安全ブレーカーを1つずつ、ゆっくり上げて（入にする）ください。
上げた瞬間に漏電ブレーカーが落ちるものが、漏電している回路のブレーカーです。
漏電している回路の安全ブレーカーのみを切り、再度漏電ブレーカーとその他の安全ブレーカーを全て上げてください。

※この操作により、漏電している回路以外は使用できるようになります。

⑤ 漏電箇所の特定

① 漏電している回路が照明、電灯回路の場合

ご自身で取付けた照明器具を外してから、安全ブレーカーを上げてください。
その時点で漏電ブレーカーが落ちなければ照明器具の不良ですので、照明器具の買い替えをお願いします。
照明器具を外しても漏電ブレーカーが落ちる場合は、備え付けの照明器具または照明配線回路の漏電ですので住宅センターへ連絡してください。

② 漏電している回路がコンセント回路の場合

該当するコンセントに差してある家電製品のプラグを、全て抜いてから安全ブレーカーを上げてください。
その後一つずつ家電製品のプラグを差し込み、差した瞬間に漏電ブレーカーが落ちるものが漏電している製品になります。該当する製品の使用はお止めください。

◇◇ 上記内容で復旧出来ないときは、住宅センターまでご連絡を ◇◇